

まちのわだい



TOWN TOPICS

まちのわだい募集

【問い合わせ先】
企画課
町づくり推進室
☎68-3113



みんなのあたたかい気持ちを届けたい

東日本大震災を受けて、救援募金箱の設置と救援物資の受け入れを行いました。

救援募金箱は、役場本庁舎と分庁舎に設置。4月15日現在で2,514,868円が集まりました。この義援金は、日本赤十字社鳥取県支部を經由し、被災された方々に届けられます。また、救援物資の受け付けを伯耆町農村環境改善センターと溝口武道館で実施しました。延べ188人の方から、カップ麺886個、水802ℓ、毛布198枚などの提供をいただきました。この救援物資は、鳥取県を通じて被災地へ送られました。



トラック6台分の救援物資が集まりました。

大山春の一斉清掃が、4月17日に開催され、榊水周辺の自治会や地元企業などのボランティア151人が参加しました。この活動は、年2回、春と秋の観光シーズンを前に大山周辺の各市町村で一斉に行われています。伯耆町では、榊水高原を中心に観光道路の沿線を約2時間かけて清掃活動を行ったところ、可燃ごみ40kgと不燃ごみ80kgを拾い集めました。年々ゴミの量は減少傾向にありますが、中には家庭ごみの投棄もありました。ごみのない美しい大山を残していくために、自分のごみは持ち帰りましょう。



ごみを拾い集める参加者

火災予防を啓発
消防団がパレード

伯耆町消防団が、4月3日に火災予防啓発パレードを行いました。このパレードは、防火意識の高揚を図ることを目的に実施しているもので、農作業が始まるこの時期に、毎年行っています。パレードには、伯耆町消防団と米子消防署伯耆出張所の消防車9台が参加。町内を3グループに分かれてパレードしました。昨年度伯耆町では、建物火災が3件、山林草火災が2件発生しました。火災は一瞬にして尊い命や貴重な財産を奪います。これから田んぼの準備などで火を使うことが多くなる時期です。火の取り扱いには十分注意し、火災予防に努めましょう。



押口集落内をパレードする消防車

広報ほうき 5月号 おしらせ

民生委員・児童委員の活動をご存知ですか？

民生委員・児童委員は、「広げよう 地域に根ざした 思いやり」行動宣言による安全で安心な福祉のまちづくりを目指し、多くの関係機関・団体などと連携したり、さまざまな取り組みを推進しています。

伯耆町でも40名の民生委員・児童委員が、研修をとおして援助者としての知識・技術を深めながら、地域のみなさまの相談を受け、関係機関との連携により、問題解決のお手伝いをしています。



人権問題研修を受ける民生・児童委員

伯耆町民生児童委員協議会の活動についてご紹介します

民生・児童委員の役割について

田中治伸委員

(2期目 担当地区：富江・大坂・大原)



昨年12月、全国一斉に民生委員・児童委員の改選が行われ、伯耆町でも40名の委員が厚生労働大臣より委嘱されました。ところで、民生委員・児童委員の役割についてご存知ない方もおられると思いますので、簡単に説明いたします。

伯耆町民生児童委員協議会では、①高齢者福祉部会 ②児童福祉部会 ③障がい者福祉部会 ④人権福祉部会 の4部会が設けられています。各委員がそれぞれの部会に所属して活動目標を決め、それに基づいて活動しています。

委員は、それぞれに担当地区があり、その地区の住民と行政などの公的機関とのパイプ役を担っています。特に、ひとり世帯

を含む高齢者世帯、父子・母子世帯、障がい者のおられる世帯などで日常生活上の困難が生じた時、また、一般世帯においても、心配事などさまざまな問題が起きた時には気軽に相談していただきたいと思っています。また、町内各小・中学校を訪問して先生方との交流を図り、児童・生徒の見守りなどにも力をいれています。

民生委員・児童委員の役割は、行政機関などとみなさんとの間に入って、問題解決に向けて調整することです。相談内容については守秘義務があり、絶対に他に漏れることはありません。安心して相談していただきたいと思っています。

【問い合わせ先】 福祉課 福祉支援室 ☎68-5534